

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-240978(P2003-240978A)

【公開日】平成15年8月27日(2003.8.27)

【出願番号】特願2002-41811(P2002-41811)

【国際特許分類第7版】

G 02 B 6/00

G 02 B 6/04

【F I】

G 02 B 6/00 3 9 1

G 02 B 6/00 3 3 1

G 02 B 6/04 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月18日(2005.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】側面漏光用プラスチック光ファイバ及び該側面漏光用プラスチック光ファイバを備えた照光装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

樹脂材料の芯材と、そのまわりを取り囲む、該芯材の屈折率より低い屈折率を備える樹脂材料の鞘材とを有し、該鞘材の外側面から漏光させる側面漏光用プラスチック光ファイバにおいて、

前記芯材と前記鞘材との界面に光散乱を生じるような構造不整が形成されるように、前記芯材と前記鞘材とは、互いに相溶性が低い樹脂の組み合わせからなる、ことを特徴とする側面漏光用プラスチック光ファイバ。

【請求項2】

さらに、前記鞘材中に光散乱を生じるような配向結晶化構造を有する、請求項1に記載の側面漏光用プラスチック光ファイバ。

【請求項3】

請求項1または2に記載の側面漏光用プラスチック光ファイバを複数束ねた光ファイバ束と、

該光ファイバ束を被覆する透明チューブと

前記光ファイバ束の少なくとも一端に光学的に接続した光源装置とを、

有することを特徴とする、側面漏光用プラスチック光ファイバを備えた照光装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

特に、照明光ファイバを誘導灯や安全表示灯として用いる場合には、被誘導者から水平方向（含む斜め方向）に見られた場合、充分な視認性を向上する観点から、光ファイバの纖維軸に垂直な方向に漏れる光の輝度をA(cd / m^2)、光ファイバの纖維軸から反光源側に80度傾いた方向に漏れる光の輝度をB(cd / m^2)としたとき、 $B / A = 4$ であるのがよい。